

きゃろりん通信

チロリン村学級

●令和8年2月 吉日発行●

先月、今年度のチロリン村学級の活動が終了いたしました。学期ごとに配信してきました『きゃろりん通信』も、こちらが今年度最後になります。いつもご覧いただきありがとうございました。

今回は、2学期最後に行われた講座と3学期分の活動をご報告いたします。

第6回講座 苔テラリウム制作

12月1日、講師の伊藤絵里奈先生とアシスタントの荒川氏をお迎えし、苔テラリウム制作の講座が行われました。

講座ではテラリウム^{*}に向いている苔の種類や育ち方など丁寧に教えていただきました。今回説明のあった苔は5種類あり、種類の多さや特徴の違いに大変驚きました。

伊藤先生は苔のほかに石や植物、小さなフィギュアなどたくさんの材料を用意してくださっており、学級生は自分で選んだ材料を使って、各マイメージした世界を楽しく作り上げていました。

※テラリウムとは・・・陸上の生物（主に植物や小動物）をガラス容器などで飼育・栽培する技術のこと。



講座参加者の感想

- 苔の奥深い世界を知り、こんなにも可愛く素敵なものが作れることに感動しました。
- 講座に参加しなければ生活の中に取り入れることがありませんでしたが、苔を知れば知るほど愛着が湧きました。
- バランスを考えながら作るのが難しかったですが、その作業がとても楽しかったです。子どもと今後の苔の様子を観察していきたいと思います。



閉講式、第7回講座 校長先生による講話

1月19日にチロリン村学級の閉講式が行われました。

式では校長先生より活動へのねぎらいのお言葉をいただき、学級長から1年間の活動への取り組みに対する想いと感謝の気持ちを伝えていただきました。

また、今回は所沢市教育委員会社会教育課の^{あしづか}蘆塚氏がお越しくださり、祝辞を頂戴いたしました。

閉講式後には日下校長先生が講話を行ってくださり、今年度最後の締めくくりとして学級生からの質問に回答していただきました。

Q&A

- ① なぜ教師を目指したのか
- ② 平成から令和への教育現場の変化
- ③ 地域的な教育の違い
- ④ 学校・家庭・地域の理想的な関係とは
- ⑤ 教師として子どもへの関わり方で大切にしていること
- ⑥ 子どもが勉強を楽しくできる方法
- ⑦ 我が子に反抗期はあったか



【Q.その他】北中小学校の印象は？

A. 保護者と地域の方が連携し合って、登下校の見守りをするといったことができる素晴らしい学校です。(一部抜粋)

学級生より多くの質問がありましたが、すべて丁寧にお答えくださり、校長先生の人柄の良さを感じられる素敵な講話でした。内容がとても面白く、北中小学校の子どもたち全員が我が子だと思って接して下さっているお話などを聞いて、講座に参加して良かったと話す学級生がとても多かったです。

講座参加者の感想

- ・夢や目標の見つけ方、子どもとの関わり方について、とてもわかりやすくお話をしてくれました。生活に取り入れたいと思います。生活や友人関係の中で先を見通し、今は何をすべきかを考えることなども、勉強につながるというお話も納得できました。
- ・校長先生のお話を聞ける機会がとても貴重でした。
- ・生徒たちへの思いや、子育てに対しての考え方が聞くことができ、とても参考になりました。

新入学保護者説明会にてチロリン村学級の活動紹介をしてきました。

1 階会議室前の壁に掲示してありますので、ぜひ機会がありましたらご覧ください。



【まとめ】

1月19日をもちまして、令和7年度家庭教育学級『チロリン村学級』の全7講座を無事に終了することができました。親睦会から始まり閉講式までの1年間、学級生の皆さんと楽しく学べたことをとても嬉しく思います。

今年度の活動を無事に終えることができたのも、皆さんのご協力とご理解があったのことに改めて感じております。本当に1年間ありがとうございました。

令和8年度も学級生を募集する予定ですので、身近にご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけをお願いいたします。

また来年度もご参加をお待ちしております！

令和7年度 役員一同

〈令和8年度チロリン村学級新役員紹介〉

学級長	土方 桃子
副学級長	藤井 由華
会計	伊藤 志保里
書記	濱田 麻弥
	小谷 絵美子



● 家庭教育学級 ●